

Business Report

FUJI ビジネスレポート

第49期

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで



夢見る人に
次々と。
ヒト味違う
“オモシロ”さ！



 株式会社 藤商事

重点課題を完遂し、 着実な成長を実現します。



代表取締役社長
松元 邦夫

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

藤商事は、コーポレートスローガン「ヒト味違う“オモシロ”さ!」のもと、独自性の高いモノづくりを追求し、幅広いファン層に対応した遊技機を提供してきました。また、平成26年2月には、自己株式を取得するなど、機動的な資本政策の遂行と、株主の皆様への利益還元に努めています。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

市場動向と平成26年3月期の総括

Q1 当業界の現状と重点課題の達成状況を含め、総括をお願いします。

A1 平成26年3月期の結果を真摯に受け止め、業績回復を図ります。

現在の当業界は、店舗の大型化が進み、1店舗あたりの設置台数は前年から増加していますが、パチンコ参加人口は依然として減少傾向にあり、新たなファンの獲得が業界全体の課題となっています。一方、遊技機市場では、人気シリーズの後継機種の需要は堅調に推移したものの、稼働や収益面においては伸び悩みを見せています。

こうした状況のなか、当社は、3つの重点課題に取り組みました。まず「①稼働本位」については、人気シリーズの

最新機種「CRゲゲゲの鬼太郎 地獄からの使者」「CRゲゲゲの鬼太郎 墓場からの招待状」を打ち出すとともに、伝説の名機「アレジン」を復刻し、休眠層の掘り起こしを狙いました。「②新たな流行を創り出すヒット機種の実現」については、当社初の「萌えジャンル」として「CR緋弾のアリア」を投入。計画を上回る販売台数を達成し、稼働についても好調に推移しました。また、パチスロ遊技機では、新筐体「クアッドコア」を採用。パチンコ遊技機で実績のあるコンテンツを活かした「パチスロ RAVE エンドレスラッシュ」と「パチスロ ゲゲゲの鬼太郎～ブラック鬼太郎の野望～」を販売し、稼働については高評価を頂いております。そして、「③販売計画の着実な達成」においては、誠に不本意ながら当初の計画には届きませんでしたが、各重点課題の問題点を洗い出し、業績回復に向けた施策をすでに開始しています。

平成27年3月期の取り組み

Q2 平成27年3月期の戦略を教えてください。

A2 『知恵と工夫』を起点として、ブランド力を構築します。

今後の遊技機市場におきましても、話題性の高い機種や人気タイトルに需要が集中すると思われまます。メーカーとしては、安定稼働が見込める遊技機を開発することが最重要課題です。

そこで、当社が掲げた平成27年3月期の目標は、『知恵と工夫』を起点とする「ブランド力の構築」です。そして、平成26年3月期に引き続き「①稼働本位」「②新たな流行を創り出すヒット機種の実現」「③販売計画の着実な達成」を推進します。具体的には、遊技者目線のモノづく

りを行い、ファンの皆様に長期間楽しんでいただける「オモシロさ」を備えた遊技機を提供すると同時に、新たなジャンルの開拓や独自性の追求により、流行の先端を走る差別化商品を創出していきます。また、効果的なタイミングで市場投入し、販売台数の確保につなげます。平成27年3月期の柱としては、前作の高稼働実績から「次はいつ発売するのか」という多くの声を頂いておりました当社看板コンテンツのホラーパチンコ・ホラーパチスロ両遊技機を販売する予定です。パチンコホール様・ファンの皆様の期待にお応えすることとともに、ブランド力構築に結びつけていきたいと考えています。

株主還元

Q3 配当施策についてお聞かせください。

A3 信頼される企業を目指し、適正な利益還元を実施しています。

当社は、企業価値の向上とともに、株主の皆様への適正な利益還元を行い、信頼される企業を目指しております。平成26年3月期の1株当たり配当金につきましては、2,500円の中間配当を実施済みであり、期末配当金については25円とさせていただきます。平成27年3月期の1株当たり配当金は、通期で50円を予定しており、業績予想に基づく配当性向は37.0%となります。

今後とも株主の皆様のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

※当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式の分割を行っております。平成26年3月期の中間配当金につきましては、株式の分割前の数値で算定しておりますが、期末配当金につきましては、株式の分割後の数値で算定しております。株式の分割を考慮した場合の平成26年3月期の中間配当金は1株当たり25円となり、通期で50円となります。

業績ハイライト

販売台数	135,800台	(対前年同期比 6.9%減)
<small>(パチンコ遊技機・パチスロ遊技機合計)</small>		
売上高	41,830百万円	(対前年同期比 6.9%減)
営業利益	4,229百万円	(対前年同期比 32.5%減)
経常利益	4,256百万円	(対前年同期比 32.6%減)
当期純利益	2,735百万円	(対前年同期比 12.4%減)

平成27年3月期の重点課題

ブランド力の構築～知恵と工夫～

- 稼働本位**
 - 遊技者目線のモノづくり
 - パチンコファンを魅了する「オモシロさ」を提供
- 新たな流行を創り出すヒット機種の実現**
 - 新ジャンルの開拓
 - 独自性の追求
 - 差別化商品の実現
- 販売計画の着実な達成**
 - 効率的かつ効果的なタイミングで商品を投入

その他トピックス

貸借銘柄の選定

選定日 平成26年3月31日

当社株式の流動性や需給関係の向上を推進し、売買の活発化と公正な価格形式の促進に資するものと考えております。

Close Up
当期発売機種

シリーズ累計500万部突破の
大人気作がパチンコとして登場!!

ドキドキの
萌え
演出満載!

ガンチラアクション萌えST!

CR

緋弾のアリア

Aria the Scarlet Ammo

© 2011 赤松中学・株式会社KADOKAWA
メディアファクトリー刊 / 東京武偵高校



©2011 赤松中学・株式会社KADOKAWA
メディアファクトリー刊 / 東京武偵高校

販売台数
12,900台

美少女たちが大活躍する萌えパチンコ登場!

原作・赤松中学メイラスト・こぶいちのタグで描かれた大人気ライトノベルが萌えパチンコとして登場!パチンコでしか味わえない「緋弾のアリア」ワールドを実現し、パチンコファンだけでなく、原作ファンも魅了します。作品の魅力とパチンコの楽しみが融合した「ヒト味違う」萌えパチンコとなっています。

大当りの鍵を握る超デカ役物!
萌えインパクトSランク
アリアファイギュア



チャンスを撃ち抜け!
ガバメントギミック

緋弾のアリア

2008年にスタートし、現在、本編17巻+番外編1巻が発表されているライトノベルの超人気作品。2011年には待望のアニメ化が実現し、TBS系列局やBS・CSのアニメチャンネルで放映され、高視聴率を記録した。さらにキャラクター人気も高く、オンラインRPGゲームやスピノフコミックなども発表されている。

Topics
トピックス

Main Lineup

当期の主な発売機種

パチンコ

CRゲゲゲの鬼太郎 地獄からの使者

目玉おやじ、史上最大のピンチ!

完全オリジナルストーリーに新キャラクターを加え、パチンコでしか見ることができない鬼太郎ワールドを実現しています。戦いの迫力はCGで展開し、誰もが楽しめる、かつてない映像表現を完成させました。



©水木プロ

平成 25年 4月発売
PACHINKO

販売台数
26,300台

CR呪怨

決してひとりでは打たないでください

新たに撮りおろしたオリジナル演出を多数搭載し、戦慄のストーリーをパチンコで表現しています。また、様々な仕掛けが、インパクトと驚きを与え、「ヒト味違う」ホラーパチンコを実現しています。



©東映ビデオ株式会社 / 「呪怨」製作委員会 / 「呪怨2」製作委員会 / 株式会社トワンゴコンテンツ

平成 25年 7月発売
PACHINKO

販売台数
57,200台

CR新アレンジ

伝説の名機、復活!

1992年に発売し、全国のホールで「アレンジボール」ブームを巻き起こした伝説の名機「アレンジ」の魅力が完全に再現しています。単純明快なおもしろさがプレイヤーを魅了する「ヒト味違う」「CR新アレンジ」となっています。



©藤商事

平成 25年 10月発売
PACHINKO

販売台数
10,100台

パチスロ

パチスロRAVE エンドレスラッシュ

新感覚バトルART搭載

大人気漫画「RAVE」をモチーフにしたパチスロ遊技機です。光とギミックで演出を盛り上げる新筐体「QUADCORE(クアッドコア)」を採用しております。

平成 25年 8月発売
PACHISLOT

販売台数
3,700台



©真島ヒロ / 講談社

ゲゲゲの鬼太郎 ～ブラック鬼太郎の野望～

三者三妖!!

国民的まんが「ゲゲゲの鬼太郎」をモチーフにしたART特化型のパチスロ遊技機です。プレイスタイルに合わせて、ゲーム性を選択できる「ヒト味違う」パチスロとなっています。

平成 26年 1月発売
PACHISLOT

販売台数
1,400台



©水木プロ

● 売上総利益率は50.5%を確保したものの、研究開発費の増加に伴い、営業利益率は10.1%にとどまりました。

パチンコ

New Machine



CRリング 運命の日



これが、「リング」だ。

日本中を恐怖と歓喜の渦に巻き込んだジャパニーズホラーの超大作「リング」。
新たな撮り下ろしムービーを加えた圧倒的なスケールで、まだ誰も見たことのない「リング」として帰ってきました。
新枠「エアークヤノン」を採用。貞子の恐怖を五感で体感できる、インパクトのある呪いの手役物をはじめ、圧倒的な演出と迫りくるホラーサウンドで、前作からさらに進化した「ヒト味違う」ホラーパチンコを実現しています。

©1999 鈴木光司 発行：株式会社KADOKAWA 角川書店
©1998「リング」[らせん]製作委員会

パチスロ

New Machine



パチスロ
リング 呪いの7日間

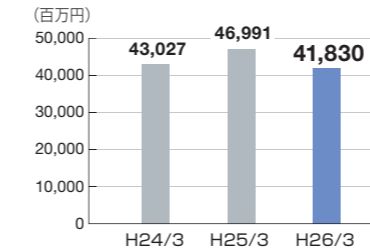
パチスロ、クル!

大人気ホラー映画「リング」が、待望のパチスロとなって登場。
原作「リング」の世界観を踏襲しつつ、呪いの手役物を搭載した専用筐体が、これまでにない新たな恐怖を演出します。
尽きることのない貞子の怨念と呪いの連鎖の先に、衝撃の結末が待っている「ヒト味違う」ホラーパチスロとなっています。

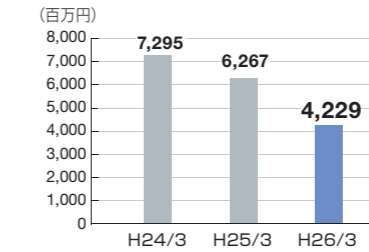
©1998「リング」[らせん]製作委員会



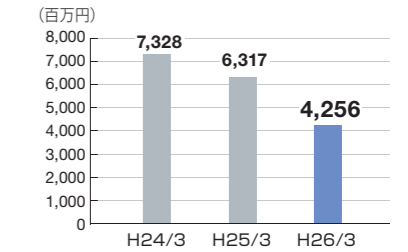
売上高



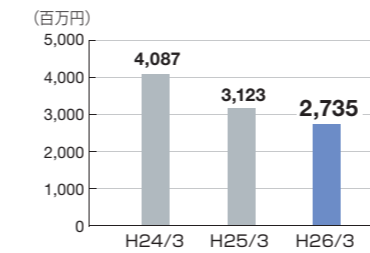
営業利益



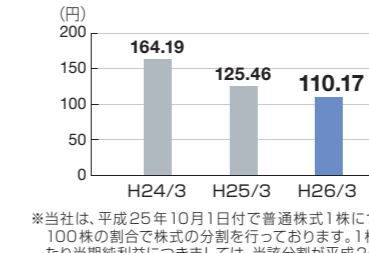
経常利益



当期純利益

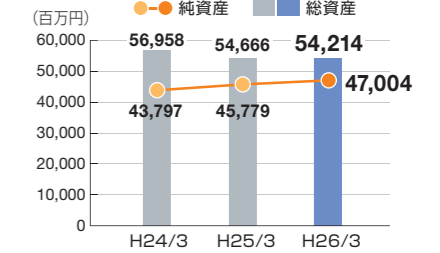


1株当たり当期純利益



※当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式の分割を行っております。1株当たり当期純利益につきましては、当該分割が平成24年3月期の期首に行われたと仮定し算定しております。

純資産／総資産



貸借対照表

単位：百万円

科目	平成25年3月期 (H25.3.31現在)	平成26年3月期 (H26.3.31現在)
資産の部		
流動資産	41,759	40,249
固定資産	12,907	13,965
有形固定資産	6,536	6,739
無形固定資産	190	171
投資その他の資産	6,180	7,053
資産合計	54,666	54,214
負債の部		
流動負債	7,271	5,652
固定負債	1,615	1,556
負債合計	8,887	7,209
純資産の部		
株主資本	45,624	46,472
評価・換算差額等	155	532
純資産合計	45,779	47,004
負債純資産合計	54,666	54,214

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

単位：百万円

科目	平成25年3月期 (H24.4.1~H25.3.31)	平成26年3月期 (H25.4.1~H26.3.31)
売上高	46,991	41,830
売上原価	25,405	20,726
売上総利益	21,586	21,104
販売費及び一般管理費	15,319	16,875
営業利益	6,267	4,229
営業外収益	132	118
営業外費用	82	91
経常利益	6,317	4,256
特別利益	0	1
特別損失	859	75
税引前当期純利益	5,458	4,182
法人税、住民税及び事業税等	2,762	1,659
法人税等調整額	△427	△212
当期純利益	3,123	2,735

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	平成25年3月期 (H24.4.1~H25.3.31)	平成26年3月期 (H25.4.1~H26.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,554	3,657
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,679	△2,775
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,183	△1,888
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,308	△1,006
現金及び現金同等物の期首残高	28,740	27,431
現金及び現金同等物の期末残高	27,431	26,425

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

平成27年3月期業績予想

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計)	25,000	△17.8	2,000	△70.1	2,000	△70.3
通期	50,000	19.5	5,000	18.2	5,000	17.5
	当期純利益		1株当たり当期純利益		年間配当金	
	百万円	%	円	銭	円 銭	
第2四半期(累計)	1,300	△68.0	53.29	25.00		
通期	3,300	20.6	135.27	50.00	(合計)	

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

会社概要

設立 昭和41年10月1日
 本社 大阪市中央区内本町一丁目1番4号
 従業員数 426名
 事業内容 パチンコ遊技機・パチスロ遊技機の開発、製造、販売

役員

代表取締役社長 松元邦夫
 代表取締役副社長 松元正夫
 代表取締役専務 井上孝司
 常務取締役 辻田隆
 取締役 羽山敏隆
 取締役 米田勝己
 取締役 渡辺勝治
 社外取締役 坪本浩一郎
 社外取締役 川添嗣夫
 常勤監査役(社外) 川西耕司
 常勤監査役(社外) 水嶋延和
 社外監査役 堀弘二
 社外監査役 川島育也

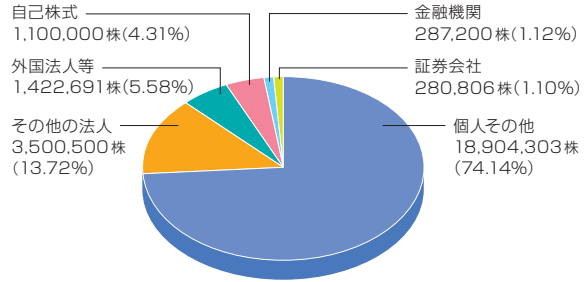
事業所

名古屋事業所 (名古屋工場および開発部)
 東京開発事業所
 東京支店 横浜営業所 広島営業所
 大阪支店 八王子営業所 高松営業所
 札幌営業所 静岡営業所 福岡営業所
 青森営業所 名古屋営業所 熊本営業所
 仙台営業所 金沢営業所 鹿児島営業所
 千葉営業所 京都営業所
 埼玉営業所 神戸営業所

株式の状況

1) 発行可能株式総数 80,000,000株
 2) 発行済株式の総数 25,495,500株
 (自己株式1,100,000株を含む)
 3) 株主数 6,810名

所有者別株主分布



4) 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松元 邦夫	6,656,000	27.28
松元 正夫	6,562,600	26.90
株式会社松元ホールディングス	2,900,000	11.88
釣谷 香揚子	1,078,000	4.41
吉田 嘉明	501,500	2.05
サン電子株式会社	290,800	1.19
藤商事従業員持株会	285,100	1.16
松元 恵子	260,000	1.06
BNY GCM CLIENT ACCOUNT J PRD AC ISG (FE-AC)	214,679	0.87
株式会社SBI証券	175,200	0.71

(注) 1. 当社は、自己株式を1,100,000株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当 毎年3月31日
 中間配当 毎年9月30日
 その他必要がある時は、予め公告して定めた日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 事務所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎ 0120-782-031

ホームページ <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法 当社のホームページに掲載致します。
 (http://www.fujimarukun.co.jp)
 ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載致します。